

2016年03月17日

平成27年度「なでしこ銘柄」に選定
～ 仕事と家庭の両立支援を拡充、女性活躍推進の取り組みが評価 ～

住友林業株式会社(社長:市川 晃 本社:東京都千代田区)は、経済産業省が東京証券取引所と共同で選定する、平成27(2015)年度「なでしこ銘柄」に選出されましたのでお知らせします。「なでしこ銘柄」は、東京証券取引所に上場する企業の中から、女性活躍推進に優れた企業を選定する取り組みで、平成24(2012)年度より開始され、今年度当社は初めて選定されました。

住友林業では、2003年にポジティブ・アクション推進室を設置し、女性の活躍を推進する取り組みに着手しました。また、あわせて、営業職、設計職、現場監理等従来女性の少なかった職種においても積極的な採用を進めています。2005年には、仕事と育児、介護の両立支援関連制度を大幅に拡充し、より働きやすい環境への整備を行いました。両立支援関連制度の検討にあたっては、育児中の女性社員と社長による育児者座談会を開催し、課題や意見を制度構築に反映しました。

2013年からは人事部内に「働きかた支援室」を設置し、育児や介護、キャリアサポート、メンタルヘルス、再雇用などの働き方・キャリアに関する支援窓口を集約し、社員が従来以上に相談しやすい体制を整え、多様な働き方をサポートしています。

さらに、当社グループでは、「多様性を尊重し、自由闊達な企業風土をつくる」という行動指針のもと、多様な人財の活用による事業戦略が重要であると捉え、2013年に「住友林業グループ女性活躍推進宣言」を発信しました。その中で「1. 女性が働きやすい環境を創出する、2. 女性ならではの発想力を活かす、3. 女性の活躍で、新たなイノベーションを創り出す」の宣言のもと、女性社員の活躍にむけて、育児支援制度・教育研修制度などの充実を図ると共に、それらの積極的な活用を推進しています。

女性の役員・管理職登用に関する自主行動計画においては、女性管理職比率の数値目標を策定し公表しています。女性が働きやすい環境づくりと同時に、社内からの役員輩出を視野に人財の育成強化と管理職への着実な登用を推進し、2020年までに女性管理職比率 5%以上を目標としています。

また、次世代育成支援対策推進法に基づき厚生労働省が進める次世代認定マーク「くるみん」認定を2007年より5期連続で取得しています。現在は2015年4月から2年間の第6期行動計画期間中で、子育てサポート企業として、育児中の女性社員が活躍できる職場環境づくり、男性社員の育児参加促進のための積極的な制度活用、そして社員の誰もが働きやすい職場環境づくりを目指しています。

住友林業グループは、今後も、性別・年齢・国籍・人種・宗教・障がいの有無にかかわらず、多様な人財が活躍できる活気ある職場づくりを進め、社員一人ひとりが活躍できる職場環境の実現を目指して参ります。そして、社員の多様な働き方、女性社員の活躍を支援する制度の拡充等を通し、次代を担う優秀な人材の確保、育成に努め、“真のエクセレントカンパニー”を目指して参ります。

*「なでしこ銘柄」とは

経済産業省と東京証券取引所が共同で、女性活躍推進に優れた上場企業「なでしこ銘柄」を選定し、発表する取り組みです。平成24(2012)年度より開始され、平成27(2015)年度は、東証一部に加え、東証二部、マザーズ、JASDAQの上場企業の中から①女性のキャリア支援と、②仕事と家庭の両立支援の二つの側面からスコアリングを行い、財務面でのパフォーマンスもよい企業を業種ごとに選定し紹介します。「女性活躍推進」に優れた上場企業を「中長期の企業価値向上」を重視する投資家にとって魅力ある銘柄として紹介する事を通じて、そうした企業への投資を促進し、各社の取り組みを加速化していくことを狙いとしています。(参照:経済産業省HP)

《本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします》

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 佐藤・森永

TEL:03-3214-2270